

🤔 考えよう

下の写真を参考にして、暑い季節に合った着方について、考えてみよう。

2 すずしい着方をくふうしよう

1 すずしい着方を考えよう

わたしたちは、夏の暑い日を気持ちよく健康に過ごすために、どのような衣服をどのように着ているでしょうか。

暑い季節には、どのような着方をしたらすずしい着方になるのかを考えてみましょう。また、あたたかい着方とはどのようなちがいがあるかも調べてみましょう。

暑い季節と寒い季節の着方のちがい

暑い季節



寒い季節



関連 理科4年:空気や水の性質

➡ 58ページ参照

🔍 調べよう

布による空気の通しやすさを比べてみよう。



つつなどの先に布をかぶせて、息をふきかける。



目があらい布 目が細かい布

2 衣服を清潔に整えよう

わたしたちが着用した衣服には、いろいろなよごれがついています。衣服をよごれたままにしておくと、見た目がよくないばかりでなく、あせやよごれを吸い取りにくくなり、着ごちが悪くなります。また、よごれは時間がたつと落ちにくくなり、布地をいためることもあります。そこで、衣服を洗たくするなどして、気持ちよく長く着用するようにしましょう。

衣服を洗たくするときは、よごれのようなすや布の種類、洗たくの注意などをよく調べるようにしましょう。

衣服のよごれの例

体から出るよごれ



外からつくよごれ



・目に見えるよごれは?
・見えないよごれは?

🔍 調べよう

衣服などのよごれは、どのようなどころにつきやすいだろうか。よごれのつきやすいところに○をつけよう。



よごれによる水のしみこみやすさのちがい



消費

衣服の手入れに必要な取りあつかい表示の例と意味

2016年11月までにつくられた衣服の表示



電気洗たく機で洗ってよい。液温は40℃以下。

2016年12月からつくられた衣服の表示



洗たく機で洗ってよい。洗たく温度は40℃以下。



アイロンは「中」の温度でかける。



アイロンは150℃以下の温度でかける。



弱い手洗いをする(洗たく機は使用しない)。液温は30℃以下。



手洗いをする(洗たく機は使用しない)。洗たく温度は40℃以下。

*取りあつかい表示は、2016年12月から国際的な表示にあわせたものに変わりました。

気持ちよく着るための衣服の手入れの手順

1 着がえる



2 手入れをする

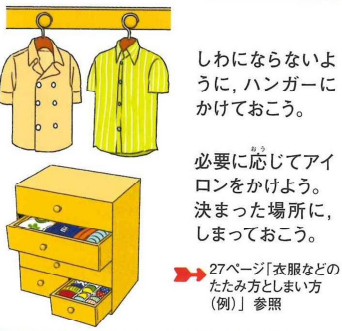


取れたボタンをつけよう。➡ 20・21ページ参照

ブラシをかけてほこりはらおう。

洗たくをしよう。

3 整理・整頓する



しわにならないように、ハンガーにかけておこう。

必要に応じてアイロンをかけよう。決まった場所に、しまっておこう。

➡ 27ページ「衣服などのたたみ方としまい方(例)」参照

4 衣服を選ぶ



どれを着ていこうかな。

ひと口メモ

衣服を着たときの気持ちのことを着ごちといいます。同じような言い方で、そこにいるときの気持ちを「いごち」といいます。「○ごちがよい」とか「○ごちが悪い」などのように使われます。